

学校評価の結果について

学校評価アンケートにご協力ありがとうございました。得られた結果、寄せられたご意見や要望を考察し、今後に向けた改善の方向を考えました。子どもたちのよりよい教育のため、学校・家庭・地域の連携をより一層深め、今後ますます努力して参ります。

<表やグラフについて>
 ・表の数値の単位は「%」です。
 ・回答の内容は以下の通りです。
 1：そう思う 2：だいたいそう思う 3：あまりそう思わない 4：そう思わない

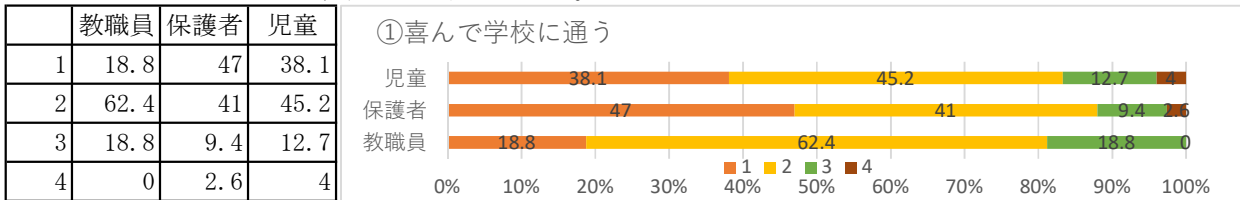
1 学校教育の全般について

①喜んで学校に通う

児童：私は、学校に行くのが楽しみである。

保護者：子どもは、喜んで学校に行っている。

教職員：子どもたちは、喜んで登校している。



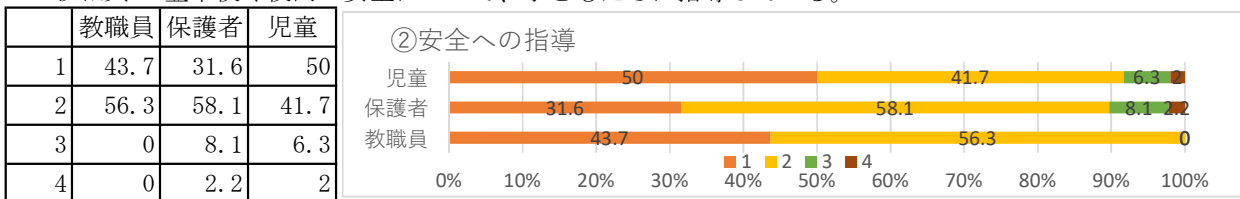
保護者の88%、児童の83%が肯定的な回答をしています。多くの児童が楽しく学校に登校できていることが分かります。しかし、楽しく登校できていないとの回答もあり、児童・保護者ともに数%増加しました。今後も引き続き、児童の様子をよく見て、保護者の皆様と連絡を密にとりながら、どの子にとっても

②安全への指導

児童：私は、登校下校中交通ルールを守って歩いたり、校舎内で走らないように気をつけたりして、けがをしないように生活している。

保護者：学校は、登下校や校内生活の安全面について配慮している。

教職員：登下校や校内の安全について、子どもたちに指導している。



複数の方から「集団登校の期間を長くしてほしい」とのご意見をいただいております。子どもたちの安全確保や高学年児童の負担など、様々な視点を考慮し、検討していきます。また、夏の熱中症対策として、登下校中の日傘の使用についてご意見をいただきました。本校の通学路は日かげが少なく（特に学校周辺）日傘などが必要になってくることも考えられます。こちらも検討していきます。

③職員の児童理解

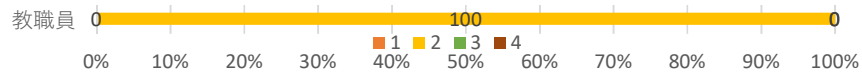
児童：先生は、私のことをよく分かってくれ、困ったときには相談にのってくれる。

保護者：職員は、子どもを理解し指導にあたっている。

教職員：子どもたちの理解に努め、適切に指導している。



3	0	8.6	4.8
4	0	4.7	0.7



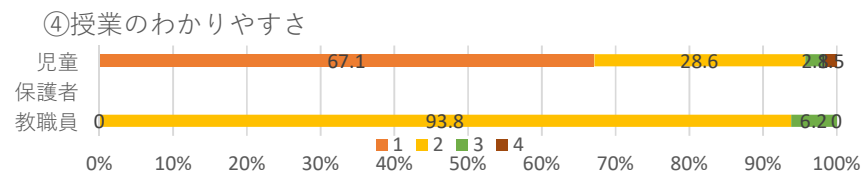
保護者の方からは、「担任が子どもの話を聞いてくれてありがたい」というご意見や「もう少し一人一人に寄り添ってほしい」「相談しやすい雰囲気を作ってほしい」というご意見をいただいております。担任のみに限らず、学校全体としてどの子どもにとっても相談しやすい環境を作っていけるよう努力して参ります。

④授業は分かりやすく楽しい

児童：授業はわかりやすく、友だちと学習することは楽しい。

教職員：子どもたちが関わり合い、わかりやすいと感じる授業をしている。

	教職員	保護者	児童
1	0		67.1
2	93.8		28.6
3	6.2		2.8
4	0		1.5



児童・教職員のどちらも肯定的な意見が90%を越えました。今年から自由進度学習に取り組み、「自分のペースで学習できて勉強が楽しくなった」という意見もありました。反面、「授業が分からない」と感じている児童もいます。今後もどの子どもにとってもわかりやすい授業ができるよう、教材研究を深め、授業

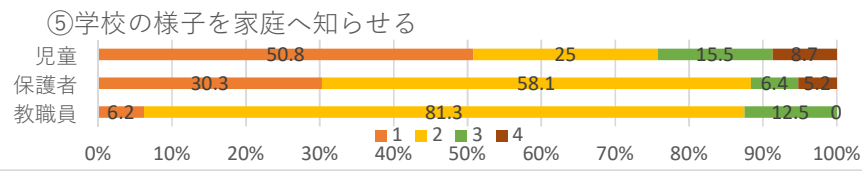
⑤学校の様子を家庭へ知らせる

児童：私は、学校の様子を家で話している。

保護者：学校や学年、学級の教育方針や取り組みの様子が、わかりやすく家庭に伝えられている。

教職員：学校や学級の教育方針や取り組みの様子などを、家庭にわかりやすく伝えている。

	教職員	保護者	児童
1	6.2	30.3	50.8
2	81.3	58.1	25
3	12.5	6.4	15.5
4	0	5.2	8.7



学校便り「花の雲」や学年・学級通信、東小HPや連絡ノート、電話連絡など、学校での児童の様子を家庭に伝える努力をして参りました。ご意見の中には「学級通信が無く、学校の様子がわからない」「連絡ノートに担任のサインなどが無く、子どもが提出しているのか分からない」等がありました。改善できることに取り組みつつ、引き続き、保護者のみなさんとの連絡を密にとっていけるよう努力して参ります。

2 学校ランドデザインの中の重点について

「たくましく」

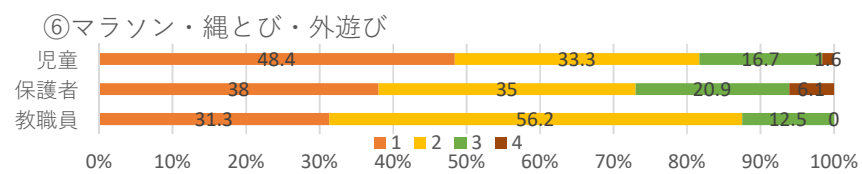
⑥マラソン・縄とび・外遊び

児童：私は、めあてをもってマラソンタイムに取り組んだり、2時休みや昼休みに進んで体を動かしている。

保護者：子どもは、放課後や休日などに地域や家庭で進んで体を動かしている。

教職員：子どもたちは、マラソンや縄跳びに取り組んだり、運動に親しもうとしている。

	教職員	保護者	児童
1	31.3	38	48.4
2	56.2	35	33.3
3	12.5	20.9	16.7
4	0	6.1	1.6



今年度も、2時間目の後の時間を使い、マラソンや縄跳びに取り組んできました。休み時間には、校庭や中庭、体育館等で遊んでいる児童も多くいます。保護者の方もA・B評価の方が10%ほど増えました。放課後の遊びや社会体育等、家庭生活の中でも体を動かしている児童が増えたのだと思います。今後も教育活動

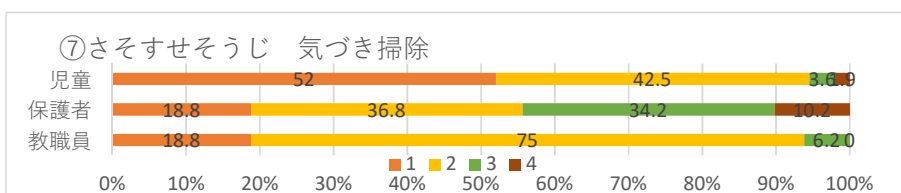
⑦さしすせそうじ(さっと準備 しずかに すみずみまで せっせと そうじ) 気づき掃除

児童：私は、掃除中黙って時間いっぱい自分の仕事をしている。

保護者：子どもは、家庭で進んでお手伝いに取り組んでいる。

教職員：子どもたちは、掃除中黙って時間いっぱい自分の仕事をしている。

	教職員	保護者	児童
1	18.8	18.8	52
2	75	36.8	42.5
3	6.2	34.2	3.6
4	0	10.2	1.9



東小学校では、学校全体で「さしすせそうじ」に取り組んでいます。今年度は、昨年度までご意見いただいたトイレの黒ずみ落としを、業者の方にやっていただきました。また、今まではコロナ禍でできなかったPTA作業では、学校周辺の環境整備もお手伝いいただきました。これからも、トイレだけでなく、

「かしこく」

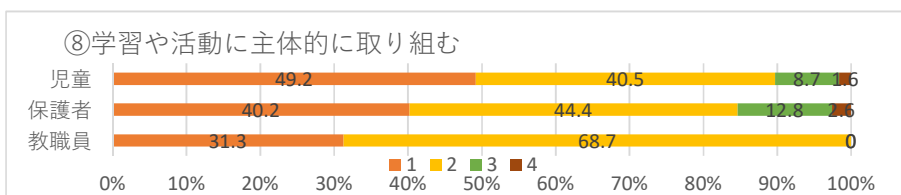
⑧学習や活動に主体的に取り組む

児童：私は、学校生活や行事にめあてをもち、めあての達成のためにがんばっている。

保護者：子どもは、学校生活や行事に期待や願いをもち、それを達成するためにめあてをもって主体的に取り組んでいる。

教職員：子どもたちは、期待や願いをもち、その具現のためにめあてをもって主体的に取り組んでいる。

	教職員	保護者	児童
1	31.3	40.2	49.2
2	68.7	44.4	40.5
3	0	12.8	8.7
4	0	2.6	1.6



児童の90%、保護者の85%が肯定的な意見となっています。今後も、子どもたちが学校生活に期待と願いをもち、めあてをもって主体的に取り組むことができるよう、働きかけをしていきます。

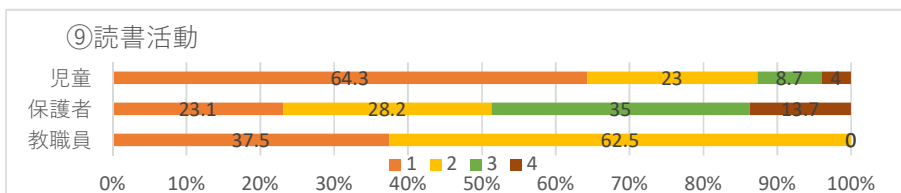
⑨読書活動

児童：私は、楽しく読書をしている。

保護者：子どもは、家庭で楽しんで読書をしている。

教職員：子どもたちは、読書活動に親しんでいる。

	教職員	保護者	児童
1	37.5	23.1	64.3
2	62.5	28.2	23
3	0	35	8.7
4	0	13.7	4



保護者の約半数がC・D評価となりました。読書旬間中の「本はともだちカード」からは、ノーメディアの時間を取り入れることで、読書の時間を確保することができたという感想が多く見られましたが、日常生活の中では、常にこの時間を確保することは難しくもなっています。読書旬間中に限らず、意識的

「やさしく」

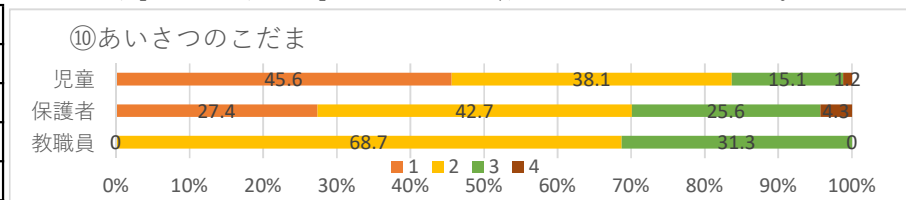
⑩あいさつのこだま

児童：私は、「おはよう」「さようなら」のあいさつを誰にでも進んでしている。

保護者：子どもは、家庭や地域で進んであいさつをしている。

教職員：子どもたちは、「おはよう」「さようなら」のあいさつを誰にでも進んでしている。

	教職員	保護者	児童
1	0	27.4	45.6
2	68.7	42.7	38.1
3	31.3	25.6	15.1
4	0	4.3	1.2



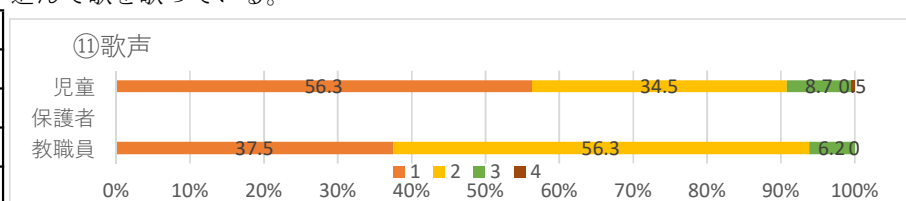
保護者や教職員に比べて、児童の「良くできている」と感じている割合が多くなっています。保護者からは「習い事の施設の方からあいさつを褒められた。」との意見もいただきました。あいさつは、毎日の実践の積み重ねが大事です。学校でも、家庭でも、地域でもあいさつの声が飛びかうよう、ご協力をお願いします。

⑪歌声

児童：私は、自分や友だちの歌声を聞きながら、精一杯歌を歌っている。

教職員：子どもたちは、進んで歌を歌っている。

	教職員	保護者	児童
1	37.5		56.3
2	56.3		34.5
3	6.2		8.7
4	0		0.5



コロナ禍が過ぎ、自由に歌うことができるようになり、歌う機会が増えたからこそ、児童・教職員ともにC・D評価をつける割合が、昨年度より若干増えました。久しぶりの全校での音楽会では、それぞれのクラス・学年の歌声を多くの方に聞いていただくことができ、子どもたちも歌うことの楽しさや達成感を

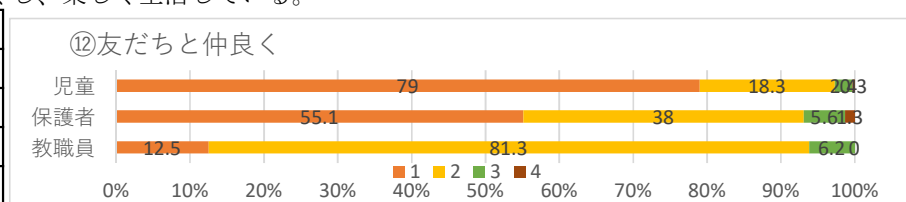
⑫友だちと仲良く

児童：私は、友だちと仲良くし毎日楽しく遊んだり話したりしている。

保護者：子どもは、友だちと仲良く遊んだり話したりしている。

教職員：友だちと仲良くし、楽しく生活している。

	教職員	保護者	児童
1	12.5	55.1	79
2	81.3	38	18.3
3	6.2	5.6	2.4
4	0	1.3	0.3



児童・保護者・教職員ともに90%以上が肯定的な意見となっていますが、中には「友だちに心ない言葉を言われた」という実態もあります。今後も子どもたちの様子を見ていき、このような姿が見られたときには、その都度対応していくようにします。お気づきのことや、心配なことがありましたら、担任や学校

3 学校行事について

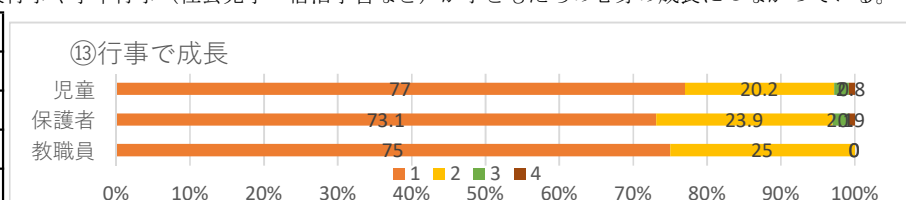
⑬行事で成長

児童：私は、運動会や音楽会の練習や本番の発表をがんばり、学校の行事（社会見学・遠足・畑や田の学習）に楽しく取り組んだ。

保護者：運動会や音楽会、マラソン大会などの学校行事や学年行事（社会見学・宿泊学習など）は、子どもの心身の成長につながる行事になっている。

教職員：運動会などの学校行事や学年行事（社会見学・宿泊学習など）が子どもたちの心身の成長につながっている。

	教職員	保護者	児童
1	75	73.1	77
2	25	23.9	20.2
3	0	2.1	2
4	0	0.9	0.8



児童・保護者・教職員ともに、95%以上肯定的な意見となっています。様々な行事に向けて、子どもたち自身が意欲的に取り組み、そのがんばりを見ていただいたことの表れだと思います。

その中で本年度、たくさんの意見が寄せられたのは、「運動会のリレーの廃止」「マラソン大会のメダルの廃止」についてです。リレー選手になることやマラソン大会で上位に入ることを目標にしていた子どもたちの思いを大事にしてほしいとの意見をたくさんいただきました。リレーについては、運動会の実施時間、練習時間の確保等、様々なことを考慮しながら、検討していくこととします。マラソン大会については、「絵や書道など作品の入選者同様、校長先生から賞状を授与してもらおう」など、子どもたちがモチベーションを保って取り組めるよう、メダルに代わる案を検討していきます。いずれにしても、今年度と変更になることに関しては、学校便り等でなるべく早めにお知らせできるようにしていきます。なお、マラソン大会については、走っている児童の走り方について、「あの子の走り方、変じゃない？」と子どもに聞こえる声で話していた方がいたとの意見もいただいています。子どもたちが気持ちよく活動に取り組むことができるよう、ご協力をお願いします。

4 アンケートで寄せられたご意見について

○上記の項目以外に関わるご意見は、以下の通りです。

・災害時の避難場所にもなるので、体育館に冷暖房を入れてほしい。

(PTAと協力して、市にかけ合ってみてはどうか。)

→どんな対策ができそうか、検討していきます。

・音楽会の保護者席にイスがほしい。

→今年度は、久しぶり全校での音楽会であり、どのくらい保護者の方が来校されるか分からなかったため、イス無しで対応させていただきました。今年度の様子を加味しながら、イスにできるスペースがあるのか検討していきます。

・低学年から郷土食を学べる授業に取り組んでほしい。

・季節の行事を取り入れてほしい。

・5年生で田んぼの学習が無くなって残念。

→職員の中で、来年度、総合的な学習の時間や生活科の授業で実施できる地域教材について、改めてまとめていこうという意見も出ています。その中で、上記の学習ができないか検討していきます。

また、その際には保護者の方や地域の方の協力が、必要不可欠になります。必要なことについては、保護者のみなさんにお声がけしますので、ご協力をよろしくをお願いします。

・タブレットを使用した授業を増やしてほしい。

・タブレットを使用した授業が多いので、紙と鉛筆を使った授業も増やしてほしい。

→タブレット使用に関しては、学年の発達段階によって使用頻度は異なります。また、担任によって、使用頻度に差があることも事実です。今年度も、ICT機器の使用について研究する部会が立ち上がり、研修する機会を設けています。担任によって差が出ないように、研修を重ねていきます。

また、タブレットの使用の有無にかかわらず、子どもたちが意欲的に学習に取り組み、学んだことが身につけていくよう、教材研究していきます。

・給食費の振替日を決まった日にできないか。

→市で振替日を設定しているため、学校では変更することができません。

※この他にも、PTAの役員決めや学級懇談会などについてもご意見いただきました。

関係部署に連絡をとりながら、今後の参考にさせていただきます。

今回のアンケートでは、課題だけでなく、子どもたちの良かった姿や昨年度からの成長も、たくさんお寄せいただきました。今後も学校と家庭、地域が協力しながら、子どもたちの成長のために協力していけたらと思います。アンケートへのご協力、ありがとうございました。